

JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2017

一 次 審 査 実 施 要 領 (一部抜粋・参考資料)

1. 事業概要

独立行政法人国際協力機構 (JICA) は、毎年夏季休暇の時期に、日本全国及び海外の中学生・高校生を対象に (海外は日本国籍を有するものに限る)、開発途上国の現状や日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動するべきかを考えるきっかけを提供する事業として「JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」を実施している。本事業は 1962 年度に「海外移住懸賞作文」として開始され、2017 年度で高校生の部が 56 回目を数える歴史の長い事業である (中学生の部は 22 回目)。

2. 事業の目的

次世代を担う中学生・高校生に対して、エッセイを書くという行為を通じて、国際協力について考えてもらうきっかけを提供し、開発課題や国際協力への興味・関心を高めてもらうことを目的とする。

3. 一次審査の目的

一次審査は、JICA 国内拠点が実施する二次審査に向けて、応募作品を都道府県別に絞り込むことを目的とする。

4. 審査期間

2017 年 9 月 19 日 (火) ~ 10 月 15 日 (日) ※10 月●日事務局必着

5. 評価基準

(1) 今年度のテーマの主旨

テーマ「世界の人々と共に生きるために ~私たちの考えること、出来ること~」

2016 年から「SDGs」という世界の新しい開発目標がスタートした。2030 年までに貧困を撲滅し、持続可能な開発を実現するための世界共通の目標であり、教育や保健、環境に差がある中で「誰も置き去りにしない」ことを掲げ、一人一人に焦点を当て、開発途上国、先進国も含め、すべての国の取り組みが求められている。また、政府や国際機関だけでなく、民間企業や市民社会、NGO、教育機関の役割は益々高まっており、様々な関係者がグローバルにパートナーシップを作ることが謳われている。かかる状況下、次代を担う若年層 (中学生・高校生) の役割は重要であり、今回のテーマでエッセイを書くことを通じて、世界の様々な開発への課題に関心を持ち、中学生・高校生でも、一人ひとりがそれらを自らの問題と捉えれば、国際社会の一員として行動ができることに気付くきっかけとなることを期待する。

(2) 審査基準

審査基準
● テーマ「未来の地球のために~私たち一人一人にできること~」と合致した内容になっているか?
● 実際に何かを行って来た経験や、未来の行動につながる体験や出来事、さまざまな出会い、見聞きして感じたこと、考えたことが自分らしく自由に表現されているか。
● 中学生・高校生の目線で書かれた、同年代の生徒たちの心を動かすような、アピール性のある作品となっているか。
● 開発課題、国際協力に対してよく理解されているか。
● 読みやすい文章であるか。(文章の巧みさ、誤字脱字の状況等)